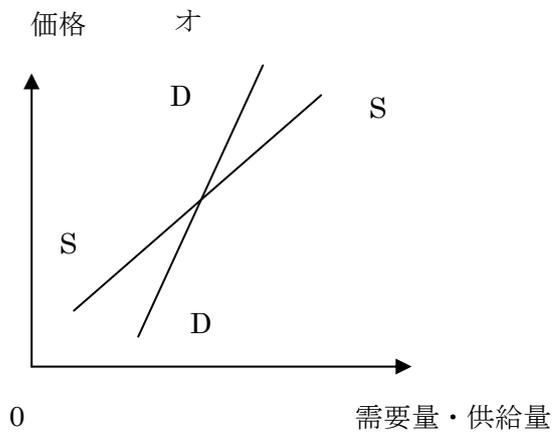
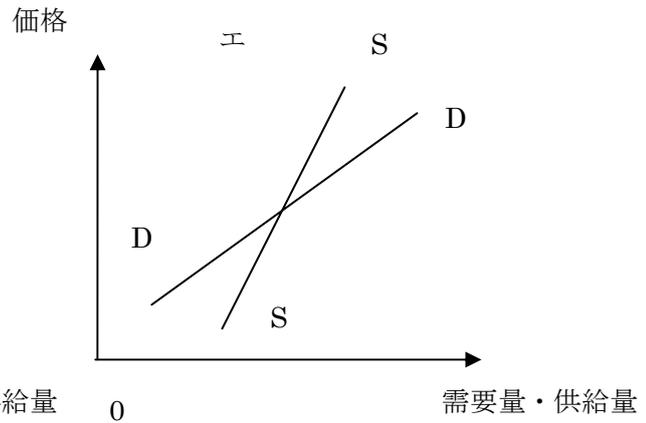
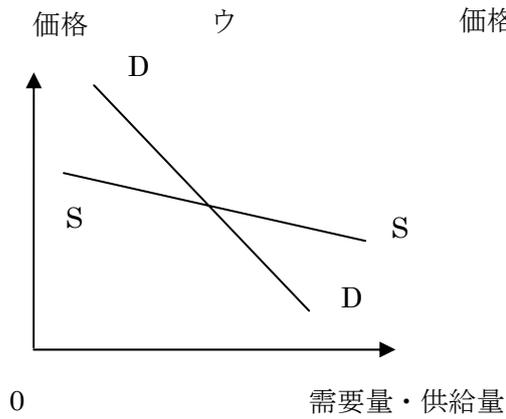
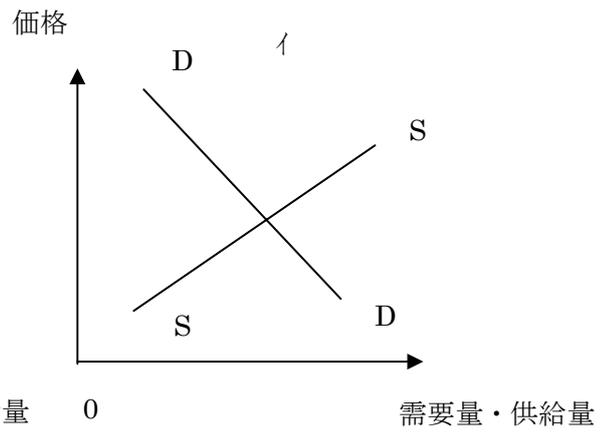
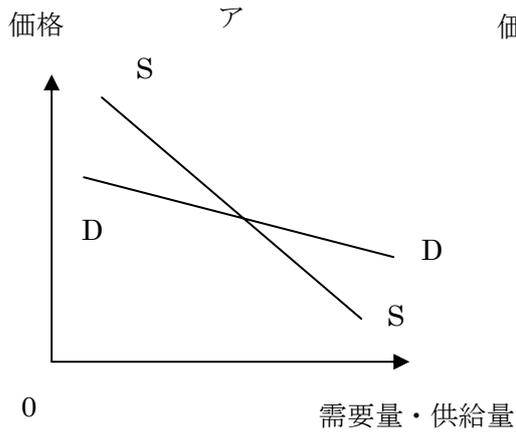


[No.18]

次のア～オは、縦軸に価格を、横軸に需要量・供給量を取り、市場におけるある商品の需要曲線を DD、供給曲線を SS で表したものであるが、このうちマーシャル的調整過程およびクモの巢的調整過程において、ともに均衡が安定であるものはどれか。



- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ
- 5 オ

正答 4

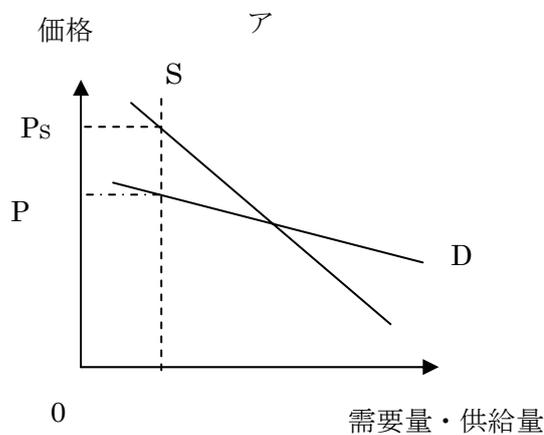
マーシャル過程とくもの巣過程の安定性についてですね。

考え方としてはそれぞれ、成立するかどうかを考えればよいのですが、一般的にくもの巣過程のほうが見つけ方が簡単です。

くもの巣の安定条件は $|S \text{ の傾き }| > |D \text{ の傾き }|$ ですから、 S のほうが D よりも傾きが急になっているのを選べばよいわけです。これは特に線を引いたりすることなく見つけられますので簡単だと思います。

すると、ア、エだけになります。あとはこの二つからどちらがマーシャル的に安定かどうかを見るだけです。

マーシャル過程の場合、安定的かどうかの見分け方は縦に線を引いてみればよいわけですね。まず、アからです。



この生産量するとき、価格は需要曲線上で P と決まります。するとこの水準は生産者が受け取りたい金額 P_s よりも小さくなっています。ですから、ここでは超過供給価格が発生しています。よって企業は生産量を減少させようとしています。つまり均衡点によってこないわけですから、マーシャル不安定です。

同様にして考えるとエの場合は、マーシャル安定であることが分かりますので、問題の答えは4ということになります。

[No.19]

完全競争市場において、需要量を D 、価格を P 、供給量を S とし、ある財の需要曲線が $D=-2P+6$ 、供給曲線が $S=4P$ で示されているとき、市場均衡点における需要の価格弾力性として、正しいのはどれか。

1 $\frac{1}{4}$

2 $\frac{1}{2}$

3 2

4 4

5 8

正答 2

需要の価格弾力性を求める問題です。

均衡点を求めたらあとは、その点での需要の価格弾力性を公式に代入して求めるだけです。

均衡点では $D=S$ ですから

$$-2P+6=4P$$

$$6P=6$$

$$P=1$$

このとき、 $D=-2 \times 1 + 6 = 4$

後はこれを公式に代入します。

公式は $e_d = \frac{\Delta Q}{\Delta P} \times \frac{P}{Q} \times (-1)$ です。 $\frac{\Delta Q}{\Delta P}$ の部分は需要曲線の傾きの逆数です。この問題で

は需要曲線はもともと $D=-2P+6$ というようになっています（図に描くときは $P=$ ではじ

める）。つまりこの需要曲線の傾きの -2 は需要曲線の傾きの逆数、 $\frac{\Delta Q}{\Delta P}$ ということになり

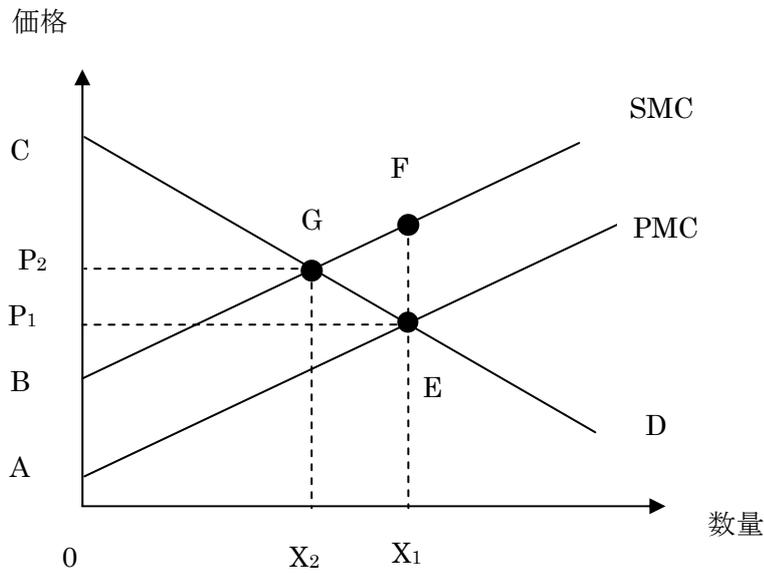
ます。

これらを公式に代入すると

$$e_d = -2 \times \frac{1}{4} \times (-1) = \frac{1}{2}$$

[No.20]

下の図は、縦軸に価格を、横軸に数量を取り、完全競争市場において企業が外部不経済を発生させているときの需要曲線を D 、私的限界費用曲線を PMC 、社会的限界費用曲線を SMC であらわしたものである。この図において、社会全体の厚生損失を表す部分及び政府が市場の失敗を補正するためにピグー的課税を行い、パレート最適を実現した場合における生産量の組み合わせとして、妥当なのはどれか。



	厚生損失	生産量
1	P_1AE	OX_1
2	CP_2G	OX_1
3	CP_2G	OX_2
4	CEF	OX_1
5	GEF	OX_2

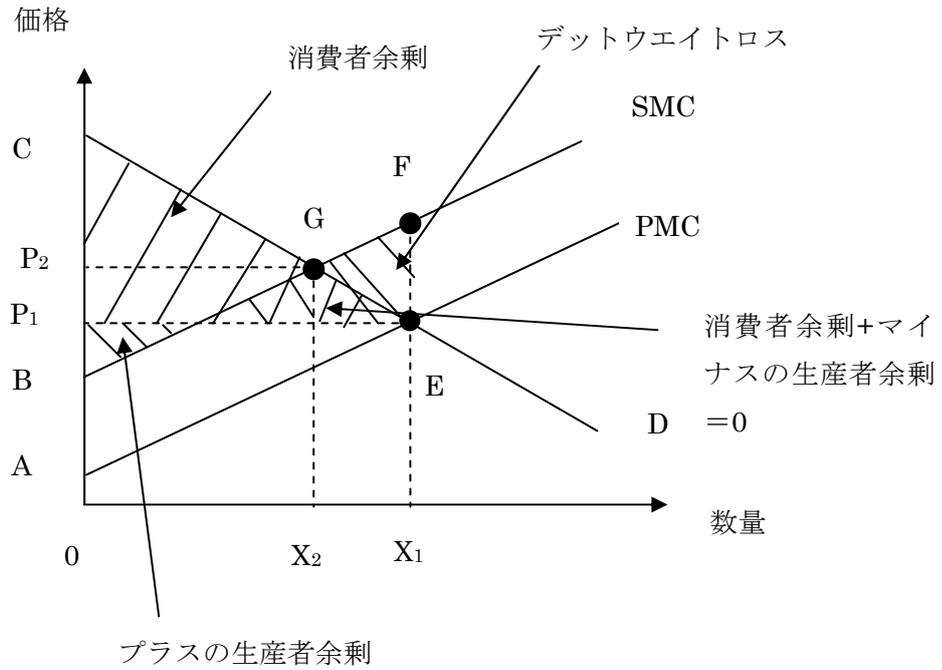
正答 5

まず、政府がピグー課税をかけることにより、企業の私的な限界費用曲線は社会的な限界費用曲線と一致します。つまりその場合、供給曲線は SMC と同じになります。

ですから、均衡点は SMC と D の交点です。

よって生産量は OX_2 になります。

また、課税以前の厚生損失は次のようになります。



デットウエイトロスは、**GEF** ですね。

[No.21]

ある合理的な消費行動をとる消費者が、所得の全てを X 財、Y 財の購入に支出し、この消費者の効用関数は、

$$U = X^2Y \quad U : \text{効用水準、} X : X \text{ 財の消費量、} Y : Y \text{ 財の消費量}$$

で示されるとする。

この消費者の所得は 45,000 円、X 財の価格は 1,000 円、Y 財の価格は 1,500 円であるとき、効用最大化をもたらす X 財の最適消費量はどれか。

- 1 18
- 2 21
- 3 24
- 4 27
- 5 30

正答 5

問題としては、効用関数に予算制約式を代入して X で U を微分して 0 とおけばよいですね。

この消費者は所得の全てを支出しているので予算制約式は

$1000X + 1500Y = 45000$ となります。これを変形して、

$$Y = -\frac{2}{3}X + 30$$

効用関数に代入して

$$U = X^2 \left(-\frac{2}{3}X + 30 \right) = -\frac{2}{3}X^3 + 30X^2$$

U を最大にするように X で微分して 0 とおくと

$$\frac{dU}{dX} = -2X^2 + 60X = 0$$

$$X(-2X + 60) = 0$$

$$X = 0, 30$$

[No.22]

投資理論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 トービンの q 理論では、企業が現在保有している資本ストックを再取得する場合に必要な費用に対するその企業の市場価値の比率を q と定義し、q の値が 1 より大きい場合に企業は投資を行うとした。
- 2 加速度原理では、生産量とこれを産出するのに必要な資本ストックの間には固定的な関係はないと仮定し、投資支出は国民所得水準に比例して決定され国民所得が大きいほど投資額も加速度的に大きくなるとした。
- 3 資本ストック調整原理では、生産量の変化に対して資本ストックが常に瞬時に調整されるとし、今期の最適資本ストック量と前期末の実際の資本ストック量との差がそのまま今期の投資量になるとした。
- 4 ジョルゲンソンの新古典派投資理論では、投資活動に付随する調整費用を明示的にそのモデルに取り込み、生産能力の増加速度が速ければ速いほど、調整費用は減少するとし、この関係をペンローズ曲線で図示した。
- 5 ケインズの投資理論では、投資費用とその投資から得られる将来収益の割引現在価値を等しくする割引率を投資の限界効率と呼び、利子率が投資の限界効率より高い場合に限り、企業は投資を実行するとした。

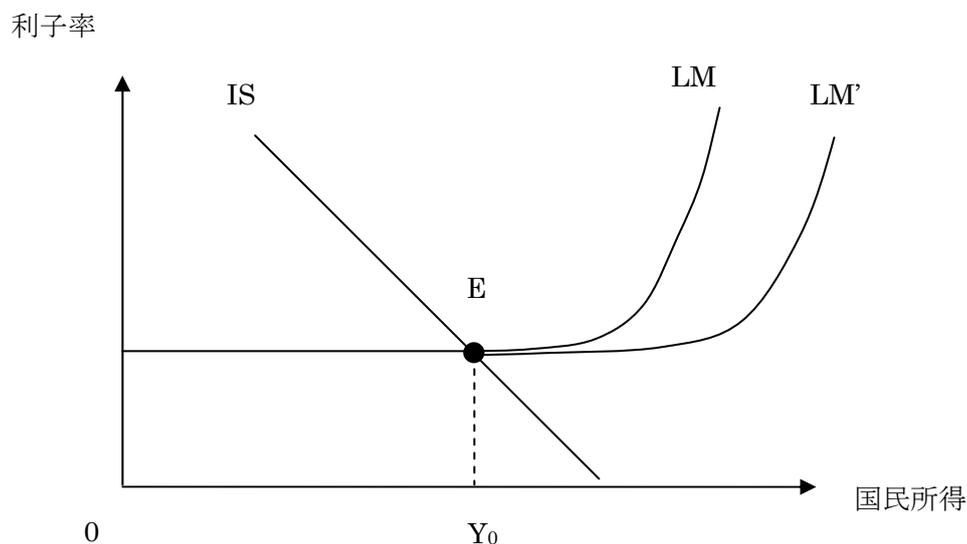
正答 1

- 1.正しいですね。理論そのままですね。
- 2.加速度原理で重要になるのは必要資本係数 $\frac{K}{Y}$ ですね。この値は一定であり、投資が決まるのにこれが重要になります。
- 3.資本ストック調整原理では、今期新たに必要となった投資の全てがなされるわけではないということを示しています。それは、企業は必要だからといって目いっぱい投資をしないということを意味します。投資にはリスクが伴うこと、またさまざまな調整コストが必要になることなどが理由です。
- 4.新古典派の投資理論は、資本の限界生産性＝利子率となるところで投資を決定するというものです。ジョルゲンソンの投資理論では、調整コストを盛り込んでいます（ストック調整モデル）。この調整コストと、投資水準の関係を示したのが調整費用モデルです。調整費用は、投資水準が増加すると逡増していることになります。これをペンローズ効果といいます。
- 5.利子率が投資の限界効率よりも高ければ企業としては投資のメリットがありませんので

投資を控えます。

[No.23]

次の文は、流動性のわなに関する記述であるが、文中の空所 A～D に該当する語又は語句の組み合わせとして、妥当なのはどれか。



上の図は、縦軸に利子率を、横軸に国民所得をとり、IS 曲線が LM 曲線の水平の部分点 E で交わっていることを示している。

不況のときのように利子率が極めて低く、これ以上は利子率が と人々が信じている状況では、 の利子弾力性は となり、上の図のように LM 曲線は水平になってしまう。この状況では、マネーサプライを増加させても、LM 曲線は LM' のように右上がりの部分が右方向にシフトするだけであり、IS 曲線が LM 曲線の水平部分の点 E で交差する場合には、国民所得 Y_0 は変わらず、 は無効となる。

	A	B	C	D
1	下がる	投資需要	無限大	財政政策
2	上がる	投資需要	ゼロ	金融政策
3	下がる	投資需要	無限大	金融政策
4	上がる	貨幣需要	ゼロ	財政政策
5	下がる	貨幣需要	無限大	金融政策

正答 5

流動性のわなの基本的な出題です。

聞かれるポイントは 1.金融政策が無効になること、2.人々が最低利子率を期待すると流動性のわなが発生すること、3.人々が最低利子率を期待すると、貨幣需要の利子弾力性が無限大となり、LM 曲線が水平になることなどです。

[No.24]

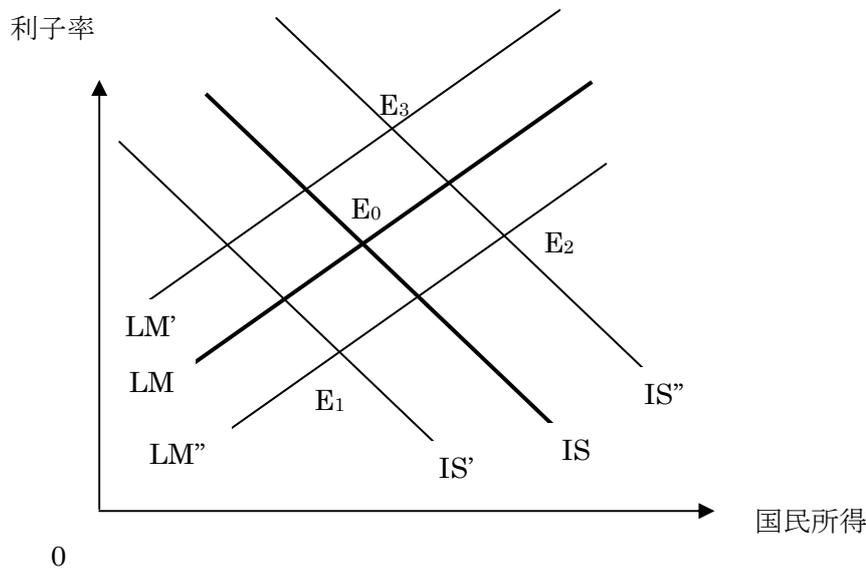
次の文は、公債の資産効果に関する記述であるが、文中の空所ア～オに該当する語の組み合わせとして、妥当なのはどれか。

下の図は、縦軸に利子率を、横軸に国民所得をとり、市中消化により公債が発行された場合の公債の資産効果を、IS 曲線と LM 曲線を用いて表したものである。

市中消化による公債残高の増加は、長期的には二つの資産効果を持つとする考えがある。

一つは、財市場で消費が する効果で、この効果はラーナー効果とも呼ばれ、IS 曲線は IS から にシフトする。もう一つは、公債の保有者が公債と貨幣の間の望ましい保有比率を維持しようとして、貨幣市場で貨幣需要が する効果で、LM 曲線は LM から にシフトする。

これにより、当初の均衡点 E_0 は、新しい均衡点 にシフトすることになる。



- | | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|----|------|----|------|----------------|
| 1 | 減少 | IS' | 増加 | LM'' | E ₁ |
| 2 | 増加 | IS' | 減少 | LM'' | E ₁ |
| 3 | 減少 | IS'' | 減少 | LM'' | E ₂ |
| 4 | 増加 | IS'' | 増加 | LM' | E ₃ |
| 5 | 増加 | IS'' | 減少 | LM' | E ₃ |

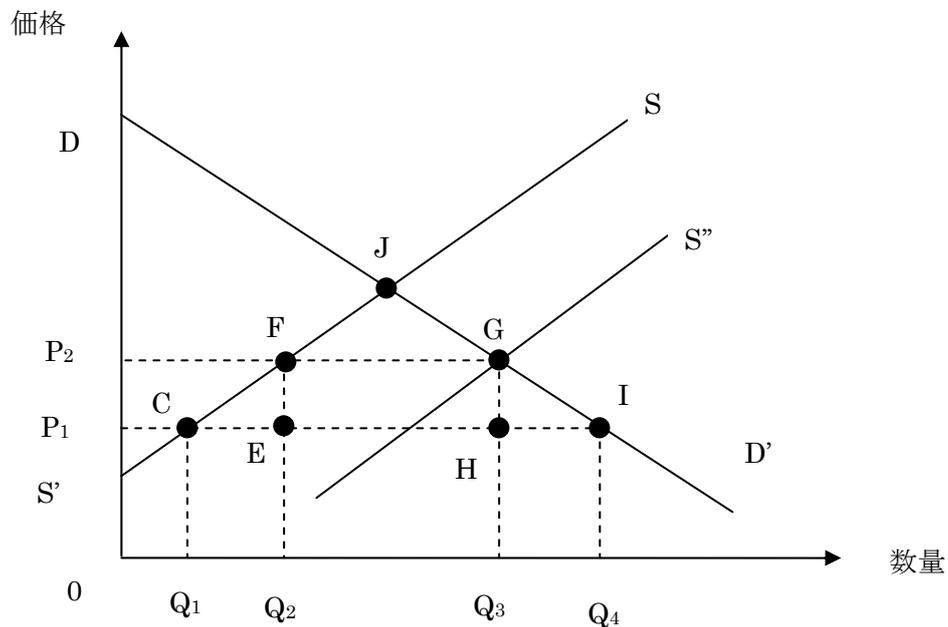
正答 4

国債は安全で優良な資産です。国がつぶれることはまずないので、返済にも問題はなく、利子もつきます。ですから、国民にとって国債とは収益を生む優良な資産を手に入れたことになるわけです。ですから、国債を発行すると、豊かになったということで消費が増加して IS 曲線は右にシフトします。限界消費性向が高まったのと同じことだからです。つまり限界貯蓄性向が下がるのとも同じですね。

次に LM ですが、公債を発行し人々が購入すると人々の資産が増加します。そうすると保有資産が増えたのでそれに見合うだけの通貨を保有しようとして貨幣需要が増加します。よって貨幣需要が増加するので LM は左シフトです。

[No.25]

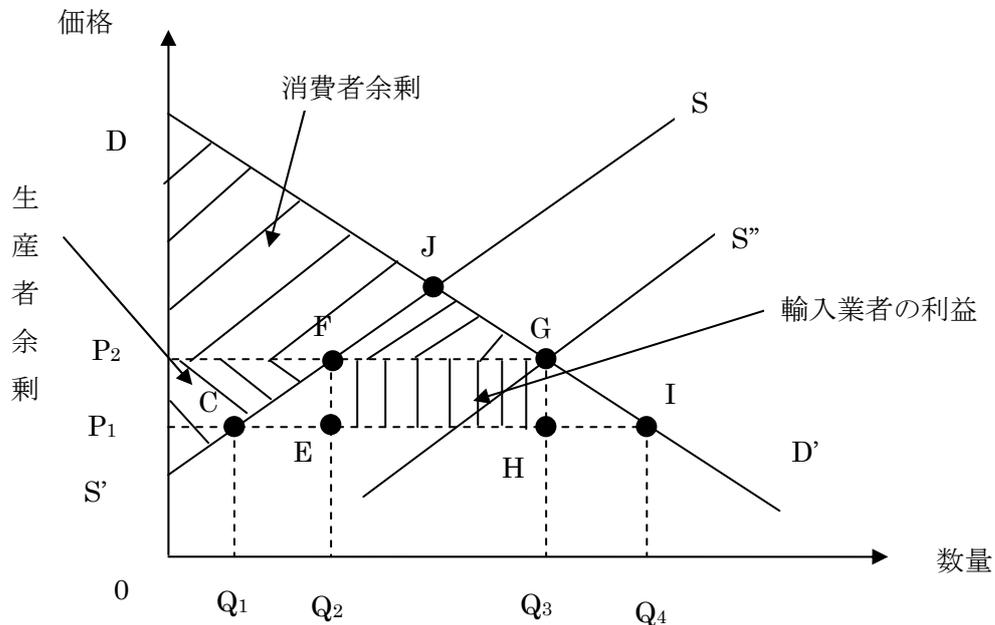
次の図は、ある国において、完全競争下で、縦軸に価格を、横軸に数量をとり、ある商品の国内需要曲線を DD' 、国内供給曲線を SS' 、国際価格を P_1 と表し、政府がこの商品の輸入数量を $Q_3 - Q_2$ に制限して国内の輸入業者に割り当てた場合において、国内供給曲線 SS' にこの商品の輸入数量を加えたときに得られる供給曲線を S'' 、そのときのこの商品の国内価格を P_2 で表したものであるが、この図の説明として妥当なのはどれか。ただし、この国は小国であって、この商品の国際価格は、この国の輸入数量の変化による影響を受けないものとする。



- 1 政府がこの商品の輸入数量を $Q_3 - Q_2$ に制限した場合、社会全体の総余剰は、四角形 P_2P_1EF の面積で表される分だけ減少する。
- 2 政府がこの商品の輸入数量を $Q_3 - Q_2$ に制限した場合、社会全体の総余剰は、三角形 JFG の面積で表される分だけ増加する。
- 3 政府がこの商品を $Q_3 - Q_2$ に制限した場合、輸入業者の利潤は、四角形 $FEHG$ の面積で表される。
- 4 政府がこの商品の輸入数量を $Q_3 - Q_2$ に制限した場合、生産者余剰は、三角形 DP_2G の面積で表される。
- 5 政府がこの商品の輸入数量を $Q_3 - Q_2$ に制限した場合、消費者余剰は、三角形 $P_1S'C$ の面積で表される分だけ減少する。

正答 3

この図で余剰分析をすると次のようになりますね。



均衡点がGとなり価格はP₂、数量はQ₃になりますね。

この時のデッドウェイトとロス、は、三角形 FCE と三角形 GHI になりますね。

また輸入業者はP₁で輸入してP₂で売っているわけですからP₂−P₁の利益が輸入一個当たりあります。それに輸入数量をかけたものが輸入業者の利益です。

[No.26]

次の文は、景気循環の種類に関する記述であるが、文中の空所 A~E に該当する語の組み合わせとして、妥当なのはどれか。

景気の循環は、その周期の長さによって区分され、それぞれ、その発見者の名前で呼ばれている。

の波は、平均 40 ヶ月の周期を持つ景気循環をいい の変動によって生じると考えられている。ジュグラーの波は、平均 10 年程度の周期を持つ景気循環をいい、主原因は の変動にあると考えられている。 の波は、建築循環とも呼ばれ、平均 20 年程度の周期を持つ景気循環をいう。コンドラチェフの波は、長期波動とも呼ばれ、平均して約 50 年の周期を持つ景気循環をいい、その原因を に求める説が有力である。

	A	B	C	D	E
1	クズネッツ	設備投資	在庫投資	キッチン	技術革新
2	クズネッツ	在庫投資	設備投資	シュンペーター	戦争
3	キッチン	在庫投資	設備投資	クズネッツ	技術革新
4	キッチン	在庫投資	設備投資	シュンペーター	戦争
5	シュンペーター	設備投資	在庫投資	クズネッツ	技術革新

正答 3

これは特に理論的なものは何もなく覚えるだけです。
割と聞かれるので、覚えておいてください。

[No.27]

地方財政に関する A～D の記述のうち、妥当のものを選んだ組み合わせはどれか。

- A 地方財政計画は、地方財政法に基づいて内閣が作成する翌年度の地方公共団体の歳入歳出総額の見込み額に関する計画で、各地方公共団体が見込んだ歳入歳出総額を集計したものである。
- B 地方交付税制度は、国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税及びタバコ税のそれぞれ一定割合の額を、国が地方公共団体に対して交付するもので、地方財源の均衡化と財源保障の機能を有している。
- C 国庫負担金は、地方公共団体の実施する事務のうち、国と地方公共団体相互に利害関係がある事務あるいは国と地方の行動責任がある事務に対して、それぞれの負担割合を定めて、国が義務的に負担するために交付する国庫支出金である。
- D 地方債は、地方公共団体が資金調達のために負担する債務で、その返済が1会計年度を越えないものをいい、地方債を起債する場合は、すべて総務大臣又は都道府県知事の許可が必要である。

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

正答 4

- A 地方公共団体が見込んだ額ではありません。国（総務省、）見込みを作成して内閣が提出します。（内閣が作成といっても間違いではありません。）
- B 地方交付税の財源はよく聞かれます。5種類ありますので覚えてください。
- C 国庫支出金は特定財源ですね。
- D 協議制です。また起債制限比率の高い自治体は起債が制限されます。

[No.28]

次の文は、国債管理政策に関する記述であるが、文中の空所 A~D に該当する語又は語句の組み合わせとして、妥当なのはどれか。

国債管理政策の目標の一つに、民間の保有する国債の満期構成を変えて、その流動性を調整することにより、景気の安定化を図ることがある。

すなわち、不況期においては、総需要を刺激するために、民間の保有する国債の流動性を ことができる の比重を高めることが望ましく、反対に好況期において、過熱気味の景気を抑えるためには、利率を させやすい の比重を高めることが望ましいとするものである。

	A	B	C	D
1	低下させる	長期債	上昇	短期債
2	低下させる	短期債	低下	長期債
3	高める	長期債	上昇	短期債
4	高める	短期債	低下	長期債
5	高める	短期債	上昇	長期債

正答 5

短期債は、償還期限が短く（長くても1年）、額も大きい。政府の資金繰りに使われます。長期債のはリスクが高い（期限が長いので不確実性がおおきい）ので通常利率が高いです。市場利率は長期国債の利率に比例しますので、長期国債を増やすとその分市場利率も高くなります。これはいいですね。公債の利率が高くなるとみんな公債を買ってしまい、他の貸出先に貸し出して運用しようとしなからですね。ですから、不況期には短期国債で好況期には長期国債ということになります。

[No.29]

公債負担の考え方に関する A～D の記述のうち、妥当なものを選んだ組み合わせはどれか。

- A ブキャナンは、取引が一方的に行われる場合に生じるものを負担とし、公債購入は自発的取引であり個人の負担にはならないのに対して、公債の元利償還時の将来世代への課税は強制的であり、個人にとっての負担が生じ、公債の発行時の世代から償還時の世代へ負担が転嫁されるとした。
- B ラーナーらの新正統派は、公債の負担を一国全体において民間が利用可能な資源の減少と捉え、公債も租税も民間の利用可能な資源が公的に使われたという点では同じであり、公債が内国債であれば、償還時点での課税は同一世代内での所得再分配にすぎないとして、将来世代への負担の転嫁は生じないとした。
- C ボーエン＝デービス＝コップは、負担を資本蓄積の減少による将来の所得減少と捉え、完全雇用下では、公債の発行は、財政支出を同額の課税で調達した場合よりも民間の資本蓄積がより多く減少して、将来の生産力が低下するから、将来世代に負担が転嫁されるとした。
- D モディリアーニは、ある世代全体が生涯にわたる私的財の消費を減らす場合を負担と考え、公債を購入した第 1 世代は後にそれを第 2 世代に売って生涯の消費を一定に保つことができるが、第 2 世代において公債償還のための課税がなされた場合、その世代の生涯消費量は減少せざるを得ず、負担は転嫁されるとした。

- 1 A B
2 A C
3 A D
4 B C
5 B D

正答 1

- A 公債→自発的取引。租税→強制というところがポイントとなります。
- B 正しいです。内国債、外国債を分けて論じているところがポイントですね。
- C これはモディリアーニですね。課税と公債が貯蓄に与える効果の違いを強調しているところがポイントです。
- D ボーエン＝デービス＝コップです。生涯消費というところがポイントとなります。

[No.30]

閉鎖経済の下で、政府支出を増加して、それを同額の増税で賄う場合、均衡予算乗数の定理に基づいて計算したときの国民所得の変化に関する記述として、妥当なのはどれか。ただし、租税は定額税であり、限界消費性向は c ($0 < c < 1$) とし、その他の条件は考えないものとする。

- 1 均衡予算乗数は $\frac{1}{1-c}$ であるので、政府支出の増加額の $\frac{1}{1-c}$ 倍だけ、国民所得は増加する。
- 2 均衡予算乗数は $\frac{c}{1-c}$ であるので、政府支出の増加額の $\frac{c}{1-c}$ 倍だけ、国民所得は増加する。
- 3 均衡予算乗数は $\frac{-c}{1-c}$ であるので、増税の生産縮小効果により、政府支出の増加額の $\frac{c}{1-c}$ 倍だけ、国民所得は減少する。
- 4 均衡予算乗数は 1 であるので、政府支出の増加額と同額だけ、国民所得は増加する。
- 5 政府支出の増加による生産拡大効果は、増税による生産縮小効果と相殺され、国民所得は変化しない。

正答 4

政府支出を増加させそれと同額の増税をした場合の、乗数を均衡予算乗数といいます。この場合均衡予算乗数は 1 となります。

$$\Delta Y = \frac{1}{1-c} \Delta G + \frac{-c}{1-c} \Delta T = \frac{1-c}{1-c} \Delta G \text{ or } \Delta T = \Delta G \quad \text{又は} \quad \Delta T$$

つまり、政府支出又は増税額と同じだけ国民所得が増加します。

[No.31]

財政理論に関する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 マネタリストは、物価と失業率の間には安定的なトレードオフ関係が存在するとし、総需要拡大政策によって長期的に自然失業率を引き下げることができるとした。
- 2 合理的期待形成学派は、民間の各経済主体が利用可能な情報を利用して一般物価水準を予想し、それに従って経済行動を決める限り、政府の財政政策は短期的にも長期的にも効果はなく、失業率や生産水準に影響を与えないとした。
- 3 公共選択学派は、人々の労働意欲や企業の投資意欲を阻害する要因が財政構造に存在すると考え、経済を供給面から刺激するために、減税等によってこうした要因を除去すべきだとした。
- 4 ケインズは、財政政策は、短期的には生産を増大させ失業率を低下させる効果を持つが、長期的には有効ではなく、むしろインフレ率の上昇という弊害をもたらすだけであるとした。
- 5 サプライサイド経済学では、代議制民主主義の下では、政治家は歳出拡大や減税などの拡張的政策だけを行うために財政政策の対称性が失われ、財政赤字が体質化し、インフレ圧力が生じるとともに、政府が肥大化するとした。

正答 2

- 1 自然失業率水準を引き下げるのは総需要拡大政策ではありません。労働市場をより効率的に整備することが必要になります。
- 3 サプライサイド経済学の主張ですね。景気対策としては減税などはケインズとおなじですが、供給重視というところがポイントです。「供給が需要を生み出す」というセイの法則とも絡みます。
- 4 マネタリストの主張ですね。長期的には経済は自然失業率以下には下がらないということです。
- 5 公共選択学派の主張ですね。民主主義の下では人気取りのために増税がしにくいというところが挙げられます。